

第28回 苫小牧市公共交通協議会【要旨】

日 時 : 令和4年7月5日(火) 13時30分～

場 所 : 苫小牧市役所 職員会館 304号室

出席者 :

下夕村委員(会長)、町田村委員(副会長)、柴田委員(道南バス)、厚谷委員(中央バス)、吉田委員(あつまバス)、根田委員(JR北海道)、佐伯委員(室蘭運輸支局)、鈴木委員(道路事務所)、石川委員(胆振総合振興局)、矢野委員(室蘭建設管理部)、清野委員(都市建設部)、佐々木委員(苫小牧警察署)、石塚委員(老人クラブ連合会)、山端委員(町内会連合会)、澤田委員(社会福祉協議会)、森委員(公募)、橋根委員(公募)

《報告事項》

報告第1号:公共交通協議会委員の変更について

- ・ 北海道中央バス株式会社 バス事業部 厚谷委員
- ・ 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所 鈴木委員
- ・ 北海道 胆振総合振興局 地域創生部 地域政策課 石川委員
- ・ 北海道 胆振総合振興局 室蘭建設管理部 苫小牧出張所 矢野委員
- ・ 苫小牧老人クラブ連合会 石塚委員
- ・ 北海道 苫小牧工業高等学校 菊地委員
- ・ 苫小牧市 総合政策部 町田委員

報告第2号:令和3年度公共交通関連事業について

- ・ 新型コロナウイルス感染症による利用減が影響している部分がある。

【市内路線バス】※補助対象外の学生便、臨時便の系統は除く

- ・ 令和3補助年度の利用者数は、2,041,941人(対前年比13,256人増)
- ・ 運賃収入は、426,057千円(対前年比34,644千円減)
- ・ 運行経費は、646,560千円(対前年比22,075千円減)
- ・ 全体収支は、220,503千円のマイナス(対前年比12,569千円のマイナス増)
- ・ 系統別補助金は、40系統中31系統に対して北海道と市で113,996千円(対前年比26,641千円増)

【樽前予約運行型バス(樽前ハッピー号)】

- ・ 昨年から引き続いている樽前地区内の病院や介護施設への面会制限、度重なる緊急事態宣言による外出自粛などにより、予約便の運行数が大幅に減少した。

- ・ 令和3年度の利用者数は、13,514人（対前年比2,555人減）
- ・ 運行率は、平日で32.1%、土日祝日で10.3%
- ・ 市からの委託料は、運行経費から運賃、国庫補助3,891,000円を差し引いた5,981,686円
- ・ 樽前予約運行型バス利用促進事業として、樽前小学校に通学する児童に対し、市内路線バスの通学定期券購入代金の1/2相当額を補助。令和3年度は、延べ56人、155,940円を補助

【植苗・美沢地区コミュニティバス（とこバス）】

- ・ 令和3年度の利用者数は、2,337人（対前年比41人減）
- ・ 運行率は、47.7%
- ・ 市からの委託料は、運行経費から運賃収入を差し引いた、7,254,950円

【ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業】

- ・ 令和3年度の補助実績は、市内2事業者、50万円を補助

【JR（室蘭線、日高線）】

- ・ JR北海道の「当社単独では維持することが困難な線区」である、室蘭線（沼ノ端～岩見沢間）、日高線（苫小牧～鶴川間）の維持存続のため、市内のイベントに合わせ公共交通利用促進ポスターを作成
- ・ 令和3年度から5年度は、沿線自治体負担はなく、北海道が主体となり観光列車の購入費用として3年間で44億円を助成、国からは3年間で1,302億円の支援が行われる。

報告第3号：令和3年度事業報告について

- ・ 協議会の開催状況
 - 第25回協議会 令和3年5月31日～6月4日（書面会議）
 - 第26回協議会 令和4年1月20日～27日（書面会議）
- ・ 公共交通利用促進事業
 - 産学連携事業（道南バス⇔高等学校、小学校、幼稚園等）
 - バスの日イベントは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
- ・ 苫小牧市地域公共交通計画策定事業
 - 国の補助を活用し、令和3年6月に策定

報告第4号：令和3年度決算報告について

- ・ バスマップ更新、バスダイヤ更新等

報告第5号：令和3年度監査報告について

- ・ 令和3年度会計収支決算書及び収支状況について監査した結果、帳簿、領収書等、関係書類の処理は適正であり、正確であった旨を報告。

《協議事項》

議案第1号：令和4年度事業計画（案）について

【地域公共交通計画】

- ・ 苫小牧市地域公共交通計画に位置付けた施策の推進
- ・ 事業評価の実施

【公共交通利用促進事業】

- ・ バス待合所施設修繕事業
- ・ 産学連携事業（道南バス⇔高等学校、小学校、幼稚園等）

【苫小牧市公共交通協議会及び分科会】

- ・ 開催予定について確認

※新型コロナウイルス感染症の影響等に応じて時期変更の場合あり。

→ 樽前ハッピー号の利便性向上についてご意見あり。

→ 社会福祉協議会澤田委員から、樽前地区移送サービスについてご説明あり。

議案第2号：計画の事業評価（案）について

- ・ 地域公共交通計画は、策定後毎年度事業評価を実施し国へ報告することとなっている。
- ・ 苫小牧市地域公共交通計画で10の指標を設定しており、その数値目標について令和3年度時点での評価を行う。

議案第3号：令和4年度予算（案）について

- ・ バスマップ更新、利用啓発ポスター作成、バス待合所修繕等

議案第4号：分科会(案)について

- ・ 計画検討分科会において、苫小牧市地域公共交通計画の基本方針に沿って、実施施策の推進に係る協議、議論を行う。
- ・ 利用促進分科会において、公共交通に関する事業の検討を行い、利用者増加につながる取組の効果検証等を行う。

その他：ナンバープレート交付金について

- ・ 令和2年5月から交付されている苫小牧ナンバーで、図柄入りのフルカラーを選ぶ場合は、1,000円以上の寄附を受け付けており、当該地域における自動車交通サービスの整備・改善等に活用が可能。
- ・ 令和4年4月に、新たに地方版図柄入りナンバープレート導入要綱が定められ、寄附金の活用方針等を定める普及促進計画を策定し、国への提出が追加されたため、本協議会において具体的な使い道などを協議する必要がある。
- ・ 寄附金の使い道は、地域住民がイメージしやすいもの、自動車ユーザーにとって利益となるもの、地域振興・観光振興などに資するものとなっている。
- ・ 事務局案を整理したのち、協議する。

⇒協議事項について、すべて原案どおり承認

以上